

## 熱収縮ゴムチューブ STシリーズ



# 豊富な製品ラインナップで幅広い産業分野に貢献

シリコン製熱収縮ゴムチューブ STシリーズ(ST=Heat Shrinkable Silicone Rubber Tubings)は、加熱することにより、簡単に内径が約1/2に収縮する絶縁・保護・被覆用のシリコンゴムチューブです。

耐熱・耐寒性、耐候性、電気特性、耐薬品性などシリコンならではの優れた特性により、

重電・弱電、輸送機分野や家電製品をはじめ、各種ロールや塗料などのマスキングなど、幅広い用途に使用されています。

熱収縮ゴムチューブは、各分野の作業工程の省力化・短縮化に役立つだけでなく、過酷な環境下でも安定した性能を発揮します。

Communication

Precision &  
Office Automation

Heat Shrinkable Silicone Rubber Tubings  
**ST Series**

Transport

Electronics

## ■目次

主な用途	3
特長	4
一般特性	5
製品リスト	
●ST-DG <sup>AW</sup> /DGタイプ	6
●ST-HTタイプ	8
使用方法	9
特性データ	
●耐熱・耐寒性:ST-DG <sup>AW</sup> /DGタイプ	10
●耐油性・耐溶剤性:ST-DG <sup>AW</sup> /DGタイプ	11
●収縮特性:STシリーズ	12
・加熱温度と収縮率	12
・収縮率と肉厚	12
・収縮力	12
●電気特性:ST-DG <sup>AW</sup> /DGタイプ	13
●光透過性:ST-HTタイプ	13
荷姿	14
保管・取り扱い上の注意	14
サンプルオーダーフォーム	15

# 主な用途

## 重電・弱電

- 各種半導体装置内のヒーター、センサーの耐熱保護
- コピー機内の配線の耐熱保護
- 発電機や車両用モーターのブスバーとライザーの絶縁被覆
- 各種トランスの口出線とコイルジョイント
- 電力、通信ケーブルの接続（ポリエチレン融着工法を含む）
- 発電所や変電所などのブスバーへの鳥やヘビなどによる短絡防止
- 各種抵抗器、サーミスタ、誘電加熱炉のコイルなどの耐熱・絶縁保護
- 温度センサーの口出線保護および端末処理



配線の耐熱保護



大型モーターアース線の絶縁被覆



ブスバーの被覆



光ファイバーの外装被覆

## 家電

- 電子レンジ、電子ジャーなどのヒーター線端末部分の保護被覆
- エアコンのサーミスタの配線保護
- ヒューズの保護被覆



クーラー用温度センサーの口出線保護



炊飯器用温度センサーの口出線保護

## 輸送機

- 各種車載センサー（酸素、温度etc）の耐熱被覆
- 自動車点火プラグへの応用
- ヒーターホースへの応用
- 各種ハーネスの端末処理
- 各種輸送機の配線端末処理
- ターボパイプ接続部の緩衝材
- バイクサイレンサー止めバネの振動防止



電源ハーネス端子の絶縁被覆



ハーネスの絶縁被覆

## etc.

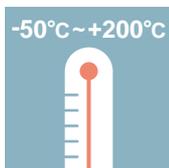
## その他

- 各種ロール用
- 塗料などのマスキング
- メガネのツルのカバー
- 歯科用研磨機のグリッパカバー
- 各種シャフト成形プリプレグの緊締用



シュリンクトンネルのロールの被覆

STシリーズは、加熱により簡単に内径が約1/2に収縮する熱収縮ゴムチューブです。  
耐熱・耐寒性、耐候性、電気特性などを必要とする個所の被覆に使用されています。



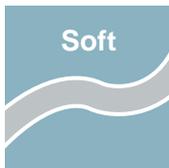
## 耐熱・耐寒性、難燃性に優れています。

-50℃～+200℃という幅広い温度範囲で使用できます。  
また、難燃性にも優れ、UL規格を取得しています。



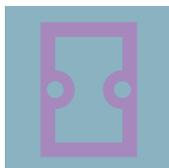
## 電気特性に優れています。

厳しい条件下でも安定した電気特性を示します。



## 適度なやわらかさを保ちます。

加熱収縮後もシリコンゴムの持つしなやかさを失わず、  
経時劣化にも強い特性を示します。



## 離型性に優れています。

シリコンゴムの持つ離型性を活かし、  
マスキングや樹脂モールドの治具としても使用できます。



## 気密性の高い被覆ができます。

ゴムの持つ収縮応力で被覆対象物を締めますので、気密性に優れた被覆ができます。



## サイズが豊富です。

小口径から大口径まで、さまざまな口径、肉厚の製品を取り揃えています。

## タイプ別 製品ラインナップ



### ST-DG<sup>TM</sup> type

#### 難燃グレード

UL規格 (UL-224) 認定品です。  
製品表面にマーキングが施されています。  
\*ST-8/10DG<sup>TM</sup>を除く



### ST-HT type

#### 透明グレード

収縮後でも内部が確認でき、  
被覆物表面の文字が読み取れるため  
マーキングなどの必要はありません。



### ST-DG type

#### 一般グレード

標準品として淡灰色 (DG)、  
その他、特殊色、特殊径、特殊肉厚、  
特殊物性 (例:耐油性向上) などについてもご相談ください。

## 一般特性

項目	タイプ	ST-DG <sup>TM</sup>	ST-DG	ST-HT
特長		難燃	薄肉タイプもある	透明性
標準色		淡灰色	淡灰色	無色半透明
密度	g/cm <sup>3</sup>	1.2	1.2	1.3
硬さ デュロメータA		70	70	65
引張り強さ	MPa	6.0	6.0	5.4
伸び	%	350	350	350
引裂き強さ	kN/m	15	15	24.5
体積抵抗率	Ω・m	2×10 <sup>12</sup>	2×10 <sup>12</sup>	2×10 <sup>12</sup>
絶縁破壊の強さ	kV (1mm)	25	25	20
誘電率 (ε) 50Hz		3.2	3.2	4.3
誘電正接 (tanδ) 50Hz		0.001	0.001	0.017
難燃性 UL-224		VW-1	—	—
使用温度範囲	℃	-50~+200	-50~+200	-50~+200
収縮性 (径方向)	%	約50	約50	約40
収縮温度	℃	80~200	80~200	170以上

■UL-224 認定番号:E49996(S)

■定格温度 200℃、定格電圧 600V、難燃性 VW-1合格

■難燃性測定方法

●15秒間接炎後、FlamingまたはGlowingが消滅するまでの時間 (秒) を測定する。これを5サイクル行う。

●試験後、5本 (計25回接炎) において1回ごとの秒数がいずれも60秒を超えないものについてのみ合格とする。

(規格値ではありません)

### 品番の見方

ST-○○ □□ (○.○)  
 ↓ ↓ ↓  
 サイズ グレード 収縮後の肉厚  
 (mm)

サイズ: 収縮後内径の10倍 (mm)

## ST-DG<sup>㊦</sup>タイプ/ST-DGタイプ

製品名	収縮前内径 (mm)	収縮後内径 (mm)	収縮後肉厚 (mm)	標準荷姿				最低梱包単位 (m)
				1m	3m	5m	50m*	
ST-5DG (0.3)	0.9-1.2	0.4-0.75	0.2-0.4	●	●			30
ST-8DG (0.3)	1.8-2.4	0.7-1.1	0.2-0.5	●	●			
ST-8DG <sup>㊦</sup>	1.4-2.2	0.6-0.9	0.8-1.2	●		●		25
ST-10DG (0.5)	2.2-3.0	0.8-1.3	0.3-0.7	●		●		
ST-10DG <sup>㊦</sup>	1.8-2.8	0.8-1.2	0.8-1.2	●			●	
ST-15DG (0.5)	2.9-3.8	1.3-1.8	0.3-0.7	●		●		20
ST-15DG (1.0)	3.0-4.2	1.3-1.8	0.8-1.2	●		●	●	
ST-15DG <sup>㊦</sup>	3.0-4.2	1.3-1.8	0.8-1.2	●			●	
ST-20DG (0.5)	4.0-5.6	1.7-2.3	0.3-0.7	●		●		
ST-20DG (1.0)	3.8-5.2	1.7-2.3	0.8-1.2	●		●	●	
ST-20DG <sup>㊦</sup>	3.8-5.2	1.7-2.3	0.8-1.2	●			●	
ST-25DG (0.5)	4.8-6.5	2.3-3.0	0.3-0.7	●		●		
ST-25DG (1.0)	5.0-6.7	2.2-2.9	0.8-1.2	●		●	●	
ST-25DG <sup>㊦</sup>	5.0-6.7	2.2-2.9	0.8-1.2	●			●	
ST-30DG (0.5)	5.5-7.3	2.8-3.5	0.3-0.7	●		●		
ST-30DG (1.0)	6.2-8.0	2.7-3.5	0.8-1.2	●		●	●	
ST-30DG <sup>㊦</sup>	6.2-8.0	2.7-3.4	0.8-1.2	●			●	
ST-40DG (0.5)	7.5-9.5	3.7-4.5	0.3-0.7	●		●		
ST-40DG (1.0)	7.8-10.0	3.5-4.4	0.8-1.2	●		●	●	
ST-40DG <sup>㊦</sup>	7.8-10.0	3.5-4.4	0.8-1.2	●			●	
ST-55DG (1.5)	10.0-13.0	5.0-6.2	1.2-1.8	●		●		10
ST-55DG <sup>㊦</sup>	10.0-13.0	5.0-6.2	1.2-1.8	●			●	
ST-65DG (0.6)	11.0-14.0	6.1-7.5	0.4-0.8	●		●		
ST-80DG (1.5)	15.0-19.0	7.3-9.0	1.2-1.8	●		●		
ST-80DG <sup>㊦</sup>	15.0-19.0	7.3-9.0	1.2-1.8	●		●		
ST-110DG (2.0)	20.0-25.0	10.2-12.5	1.7-2.3	●		●		
ST-110DG <sup>㊦</sup>	20.0-25.0	10.2-12.5	1.7-2.3	●		●		
ST-140DG (1.3)	24.0-29.0	13.5-16.0	1.0-1.6	●		●		5
ST-140DG <sup>㊦</sup>	24.0-29.5	13.0-15.5	1.7-2.3	●		●		

\* 50m(ポビン巻)荷姿の最低梱包単位は50mとなります。

●オーダーは梱包単位の整数数でお受けします。

●径および肉厚は規格値ではありません。

製品名	収縮前内径 (mm)	収縮後内径 (mm)	収縮後肉厚 (mm)	標準荷姿			最低梱包単位 (m)
				1m	3m	5m	
ST-170DG (1.5)	29.0-35.0	15.0-20.0	1.2-1.8	●		●	5
ST-170DG (2.0)	29.0-35.0	15.0-19.0	1.7-2.3	●		●	
ST-170DG 	29.0-35.0	15.0-19.0	1.7-2.3	●		●	
ST-230DG (1.5)	43.0-52.0	21.0-28.0	1.2-1.8	●		●	
ST-230DG (3.0)	41.0-49.0	20.0-26.0	2.7-3.3	●		●	
ST-230DG 	41.0-49.0	20.0-26.0	2.7-3.3	●		●	
ST-290DG 	50.0-60.0	27.0-34.0	2.7-3.3	●		●	
ST-350DG (1.5)	62.0-75.0	34.0-43.0	1.2-1.8	●		●	
ST-350DG (3.0)	60.0-73.0	31.0-40.0	2.7-3.3	●		●	
ST-350DG 	60.0-73.0	31.0-40.0	2.7-3.3	●		●	
ST-400DG (3.0)	67.0-84.0	37.0-49.0	2.5-3.5	●		●	1
ST-400DG 	67.0-84.0	37.0-49.0	2.5-3.5	●		●	
ST-500DG (3.0)	78.0-98.0	45.0-60.0	2.5-3.5	●		●	
ST-500DG 	78.0-98.0	45.0-60.0	2.5-3.5	●		●	
ST-600DG (3.0)	95.0-118.0	55.0-70.0	2.5-3.5	●		●	
ST-600DG 	95.0-118.0	55.0-70.0	2.5-3.5	●		●	
ST-800DG (3.0)	130.0-160.0	75.0-95.0	2.5-3.5	●		●	
ST-800DG 	130.0-160.0	75.0-95.0	2.5-3.5	●		●	
ST-1000DG (3.0)	158.0-193.0	90.0-115.0	2.5-3.5	●		●	
ST-1000DG 	158.0-193.0	90.0-115.0	2.5-3.5	●		●	
ST-1200DG (3.0)	190.0-230.0	110.0-140.0	2.5-3.5	●		●	
ST-1200DG 	190.0-230.0	110.0-140.0	2.5-3.5	●		●	
ST-1500DG (3.0)	235.0-285.0	135.0-170.0	2.5-3.5	●		●	
ST-1500DG 	235.0-285.0	135.0-170.0	2.5-3.5	●		●	

\* オーダーは梱包単位の整数数でお受けします。 \* 径および肉厚は規格値ではありません。

## ST-HTタイプ

製品名	収縮前内径 (mm)	収縮後内径 (mm)	収縮後肉厚 (mm)	標準荷姿			最低梱包単位 (m)
				1m	3m	5m	
ST-8HT (0.15)	1.15-1.45	0.7-1.0	0.1-0.3	●	●		30
ST-10HT (0.3)	1.7-2.4	0.9-1.3	0.2-0.45	●	●		
ST-15HT (0.3)	2.2-3.0	1.2-1.8	0.2-0.45	●		●	25
ST-20HT (0.3)	3.1-3.9	1.7-2.3	0.2-0.45	●		●	20
ST-30HT (0.5)	5.1-6.0	2.7-3.4	0.3-0.7	●		●	
ST-50HT (0.5)	7.8-9.2	4.3-5.5	0.3-0.7	●		●	10
ST-75HT (0.5)	11.5-13.2	6.7-8.2	0.3-0.7	●		●	
ST-100HT (0.75)	16.0-18.2	9.0-10.7	0.6-1.0	●		●	
ST-140HT (0.75)	23.0-26.0	12.0-15.0	0.6-1.0	●		●	5
ST-190HT (1.0)	31.5-35.5	17.5-22.0	0.8-1.2	●		●	
ST-230HT (1.5)	44.0-49.5	22.0-26.5	1.3-1.8	●		●	
ST-270HT (1.0)	45.0-51.5	24.0-32.0	0.8-1.3	●		●	
ST-290HT (1.5)	54.0-61.0	28.0-36.0	1.3-1.8	●		●	
ST-380HT (1.5)	60.0-73.0	34.0-44.0	1.2-1.8	●		●	1
ST-520HT (1.5)	83.0-98.0	46.0-60.0	1.2-1.8	●		●	
ST-650HT (2.0)	100.0-117.0	58.0-75.0	1.5-2.5	●		●	
ST-800HT (3.0)	135.0-160.0	74.0-89.0	2.5-3.5	●		●	
ST-1000HT (3.0)	160.0-190.0	92.0-115.0	2.5-3.5	●		●	

\* オーダーは梱包単位の整数数でお受けします。 \* 径および肉厚は規格値ではありません。

# 使用方法

## 作業プロセス

### 1 サイズの選定

用途に合うサイズ、タイプ、肉厚を選びます。大きさの目安としては、熱収縮ゴムチューブの収縮後の内径が被覆対象物の直径よりもやや小さくなるようなチューブを選んでください。

### 2 取り付け

チューブを被覆対象物に合わせてカットして使用してください。

- \* 熱収縮ゴムチューブは、ハサミやカッターなどで簡単に切ることができます。その際、カット面にキズ等がはまらないよう注意してください。
- \* 若干軸方向の収縮・伸長が発生しますので、お客様にて十分評価を行ったうえでご使用ください。

### 3 加熱

被覆対象物に熱収縮ゴムチューブをかぶせたら、均一に加熱して収縮させます。

加熱の温度は80～200℃の範囲で行ってください。

- \* 高温(200℃以上)で加熱しすぎると、チューブ表面にひび割れ、亀裂などが生じることがあります。

加熱器具例：熱風炉、ホットエアガン、ガスバーナー、赤外線ヒーター、電熱器など



## 加熱作業上の注意

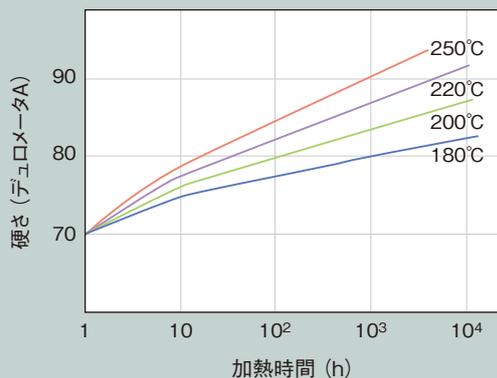
熱風炉で収縮させる場合は、チューブを均一に収縮させることができますが、ホットエアガンなどの器具を使用する場合は次のことに注意してください。

1. 被覆対象物が細長いもの場合は、中央部から両端部に向かって収縮させます。
  2. ゴムの厚さを均一にするためには、チューブを回転させて全周に熱を均一にかけます。
  3. 空気が入らないように注意し、凹部から先に加熱します。
  4. 角形のバーを被覆するには、角の部分から収縮させます。
- 熱収縮ゴムチューブの被覆作業は、上記のような手順で行ってください。

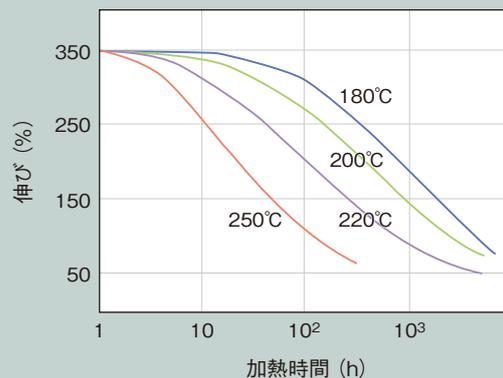
## 耐熱・耐寒性：ST-DG<sup>TM</sup> / ST-DGタイプ

熱収縮ゴムチューブST-DG<sup>TM</sup> / ST-DGタイプは、一般シリコンゴムと同様、  
-50℃～+200℃までの広い温度範囲にわたって、ゴム特性を維持します。  
高温下での硬さ、伸び、引張り強さ、低温下での剛性の変化をグラフに示します。

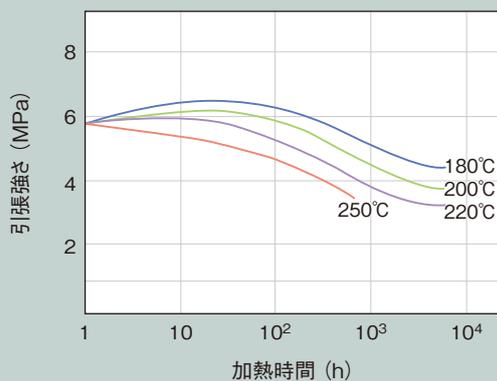
高温下での硬さ変化



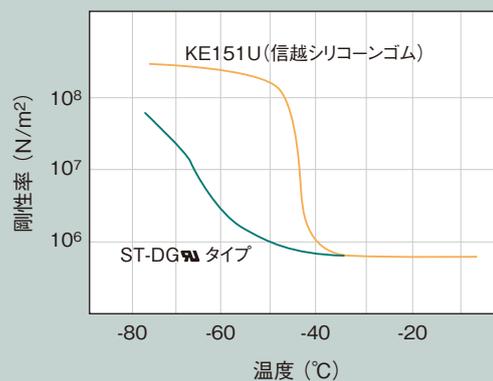
高温下での伸び変化



高温下での引張り強さ変化



低温下での温度と剛性率の関係



- 低温脆化試験 (ASTM-D-2671)  
ST-DG<sup>TM</sup> タイプ -75℃合格
- ゲーマンねじれ剛性率  
(ASTM-D-1053)

## 耐油性：ST-DG<sup>RES</sup>/ST-DGタイプ

熱収縮ゴムチューブST-DG<sup>RES</sup>/ST-DGタイプを各種油類に浸漬した場合の、伸び変化率、引張り強さ変化率、引裂き強さ変化率、体積変化率を表に示します。

	浸漬条件	伸び変化率 (%)	引張り強さ変化率 (%)	引裂き強さ変化率 (%)	体積変化率 (%)
大豆油	60°C/150h	-16	-4	-59	-1
なたね油	60°C/150h	-21	-4	-42	+6
ゴマ油	60°C/150h	-16	-4	-42	+3
ラード	60°C/150h	-33	-11	-46	0
混合食用油*	60°C/150h	-21	-6	-48	+2
プレーキオイル	60°C/150h	-7	-16	-40	+5
モーターオイル	60°C/150h	-21	-4	-45	+5
絶縁油(低圧用)	60°C/150h	-47	-55	-75	+53
ASTM No.1オイル	60°C/150h	-22	-4	-42	+2

\* JIS K 6249に準拠 \* 混合食用油は大豆油、なたね油、ゴマ油、ラードを等重量に混合したもの

(規格値ではありません)

	浸漬条件	体積変化率 (%)
ベンゼン	25°C/1h	130
トルエン	25°C/1h	160
キシレン	25°C/1h	160
ガソリン	25°C/1h	170
ソルベントナフサ	25°C/1h	190
エチルエーテル	25°C/1h	170
アセトン	25°C/1h	45
メチルエチルケトン	25°C/1h	90
酢酸エチル	25°C/1h	95
メタノール	25°C/1h	1以下
水	100°C/24h	1以下

\* JIS K 6249に準拠

(規格値ではありません)

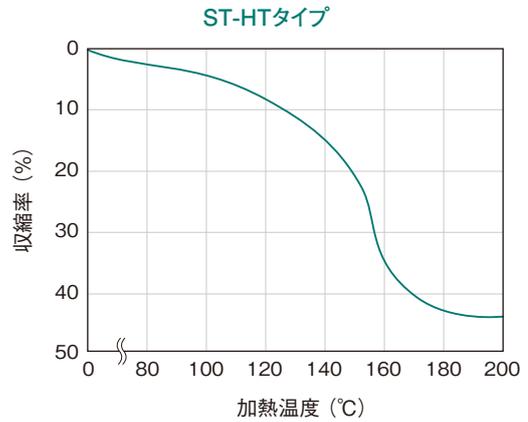
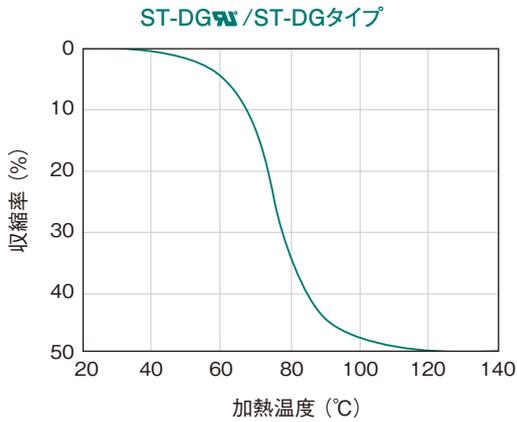
## 耐溶剤性：ST-DG<sup>RES</sup>/ST-DGタイプ

熱収縮ゴムチューブST-DG<sup>RES</sup>/ST-DGタイプの耐溶剤性は一般のシリコンゴムと同様です。水や極性溶媒には強く、無極性溶媒、芳香族系、塩化物系の溶媒などには影響を受け、膨潤・強度低下が見られます。ただし、膨潤溶媒を乾燥除去すると、ほとんど元の物性に戻ります。ST-DG<sup>RES</sup>/ST-DGタイプを各種溶剤に浸漬した場合の体積変化を表に示します。

## 収縮特性：STシリーズ

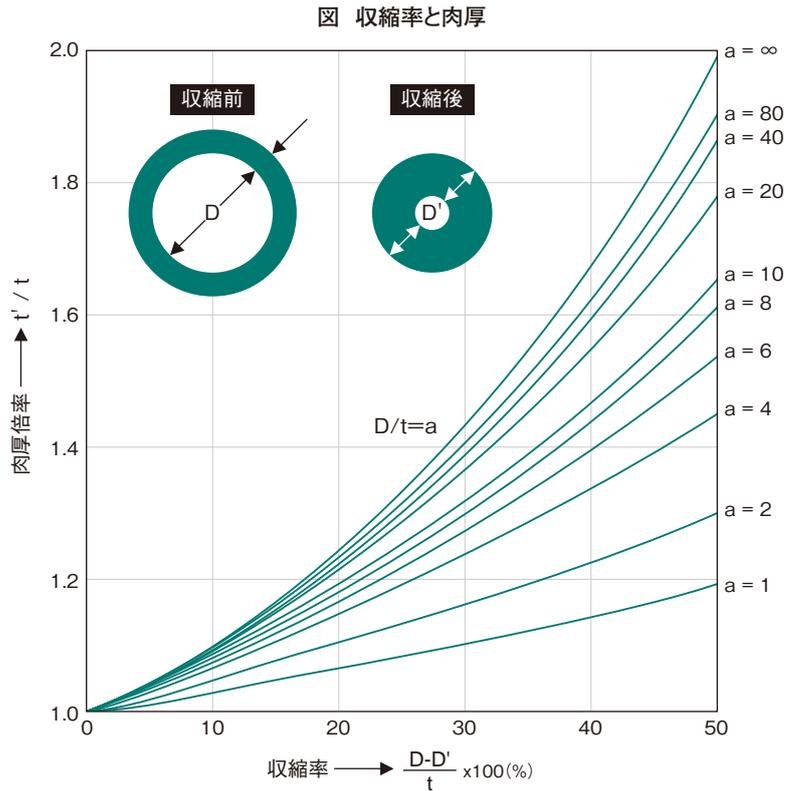
### ●加熱温度と収縮率

熱収縮ゴムチューブSTシリーズの収縮性は、温度に最も影響され、加熱時間が長いほどよく収縮します。各温度で5分間保持した場合の収縮率をグラフに示します。



### ●収縮率と肉厚

STシリーズは、収縮すると必ずチューブの肉厚が厚くなります。収縮率と肉厚の関係はシリコンゴムのポアソン比 $\mu=0.5$ とし、チューブ断面積は幾何学的に不変であるとすれば、下図のようになります。チューブ直径と肉厚の比が10:1程度の場合は、収縮率と肉厚はほぼ直線的に変化します。また、口径が小さくて肉厚が厚い場合は、肉厚の変化が少ないのでご注意ください。



$$* \text{算出式の例 } \left(\frac{t'}{t}\right)^2 + \frac{D}{t} \left(1 - \frac{D-D'}{t}\right) \left(\frac{t'}{t}\right) - \frac{D}{t} - 1 = 0$$

### ●収縮力

STシリーズは、加熱するとゴムの中に蓄えられた張力で収縮しますが、その時の収縮力は下のようになります。

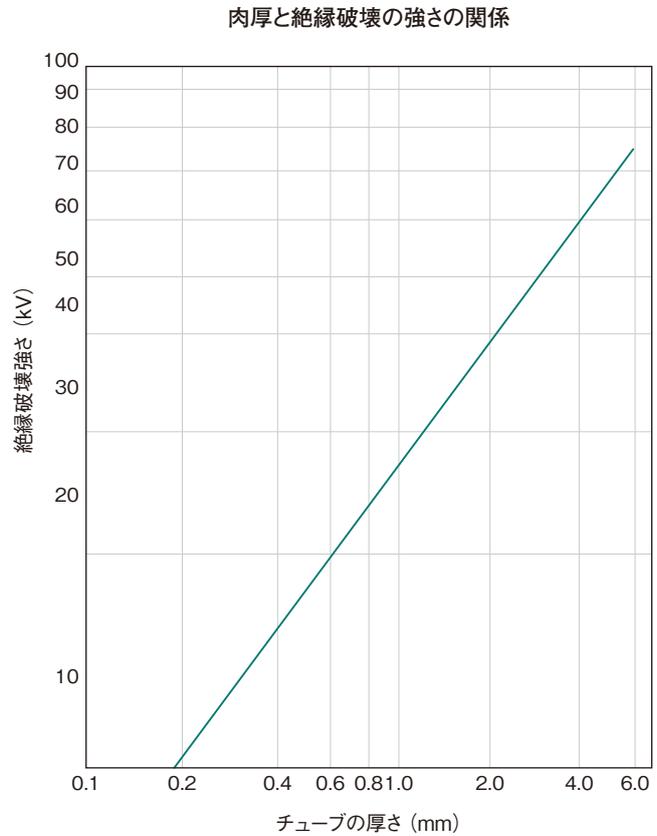
サンプル	収縮前の厚さ (mm)	収縮率0%での収縮力 (幅1mあたり：g)	断面あたりの力 (kg/cm <sup>2</sup> )	収縮率25%での収縮力 (幅1mあたり：g)	断面あたりの力 (kg/cm <sup>2</sup> )
ST-170DG <sup>W</sup>	0.85	350	4.1	170	2

(規格値ではありません)

## 電気特性：ST-DG<sup>TM</sup> / ST-DGタイプ

熱収縮ゴムチューブST-DG<sup>TM</sup> / ST-DGタイプは、電気絶縁性に優れ、周波数や温度による特性変化がありません。チューブの肉厚と(交流電圧による)絶縁破壊の強さの関係を右図に示します。一般的に絶縁破壊電圧は、厚さの2/3乗に比例するといわれていますが、平板上でチューブ厚さと絶縁破壊電圧との関係を両対数グラフ上でプロットすると、右図のようにほぼ直線になります。

\* ご使用に際しては、収縮前と収縮後とは熱収縮ゴムチューブの肉厚が異なりますので、ご注意ください。



## 光透過性：ST-HTタイプ

	波長	肉厚	
		0.5 mm	1.0 mm
光透過性	800 nm	90%	70%
	600 nm	80%	60%
	400 nm	60%	35%

(規格値ではありません)

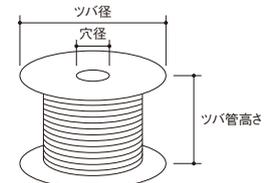


1、3、5m 荷姿例



50m 荷姿例

\* ダンボール No.6-11 ポビン巻 各部の名称



ポビンサイズ

ツバ径 250mmφ:10~30DGおよびDGUL・ツバ管高さ85mm

290mmφ:40DGおよびDGUL・ツバ管高さ110mm

340mmφ:55DGUL・ツバ管高さ110mm

穴径はすべて30mmφ

## ダンボールサイズ

用途	適用荷姿	種類	サイズ(長辺×短辺×高さ)/重量	備考
標準国内出荷用	1、3、5m 荷姿	① ダンボール No.1	1,120×110×110mm/0.38kg	1、3、5m 品
		② ダンボール No.2	1,105×200×110mm/0.75kg	1、3、5m 品
		③ ダンボール No.3	1,105×430×175mm/1.51kg	1、3、5m 品
		④ ダンボール No.4	1,115×80×80mm/0.19kg	1、3、5m 品
		⑤ ダンボール No.5	1,105×280×160mm/0.98kg	1、3、5m 品
	50m 荷姿	ダンボール No.6	260×260×120mm/0.245kg	50mポビン巻用(250mmφ1巻)
		ダンボール No.7	515×260×215mm/0.46kg	50mポビン巻用(250mmφ4巻)
		ダンボール No.8	300×300×145mm/0.335kg	50mポビン巻用(290mmφ1巻)
		ダンボール No.9	595×300×265mm/0.585kg	50mポビン巻用(290mmφ4巻)
		ダンボール No.10	350×350×145mm/0.6kg	50mポビン巻用(340mmφ1巻)
		ダンボール No.11	695×350×265mm/0.8kg	50mポビン巻用(340mmφ4巻)
標準輸出用	1、3、5m 荷姿	輸出ダンボールK	1,110×485×365mm/4.06kg	1、3、5m 品
	50m 荷姿	輸出ダンボールL	1,050×280×460mm/2.3kg	ダンボールNo.7を4箱梱包
		輸出ダンボールM	1,230×320×580mm/3.92kg	ダンボールNo.9を4箱梱包
		輸出ダンボールN	1,430×370×580mm/5kg	ダンボールNo.11を4箱梱包

## 保管・取り扱い上の注意

1. 直射日光を避け、湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
2. 溶剤や油分などが付着すると、変質し特性が低下するおそれがありますので、ご注意ください。
3. 被覆面のゴミ、汚れ、水分、油分をきれいに取り除いてからご使用ください。
4. ご使用前に製品安全データシート(MSDS)をお読みください。MSDSは、担当営業部署までご依頼ください。

# サンプル請求

STシリーズのサンプルをご希望の方は、当社ホームページの「熱収縮ゴムチューブサンプル請求」から、ご依頼ください。

## アクセス方法

製品情報

ゴム・ゴム加工品

熱収縮ゴムチューブ

サンプル  
請求

「熱収縮ゴムチューブ」ホームページアドレス:

[https://www.silicone.jp/products/type/heat\\_tube/](https://www.silicone.jp/products/type/heat_tube/)

熱収縮ゴムチューブについてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル  
 営業第三部 ..... ☎ (03)3246-5101

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 損保ジャパン日本興亜肥後橋ビル... ☎ (06)6444-8226  
 名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル ..... ☎ (052)581-6515  
 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビル ..... ☎ (092)781-0915

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更することがあります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。
- 本資料を転載されるときは、当社シリコン事業本部の承認を必要とします。



当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所	ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0004 JCQA-E-0002)
直江津工場	ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0018 JCQA-E-0064)
武生工場	ISO 9001 ISO 14001 (JQA-0479 JQA-EM0298)

<http://www.silicone.jp/>